

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成29年 6月30日

都道府県知事
(市長) 大分県知事 広瀬勝貞 殿

提出者

住 所 大分県宇佐市安心院町寒水723-1

氏 名 三井隆則

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三井牧場
事業場の所在地	宇佐市安心院町寒水723番地の1
計画期間	平成29年4月1日 ~ 平成30年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	01 農業
② 事業の規模	乳用牛 成牛 105頭 ・ 育成牛 35頭 肉用牛 2歳以上 3頭 ・ 2歳未満 5頭
③ 従業員数	6人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	動物の糞尿 自ら堆肥化 動物の死体 処理業者(日大化成)へ委託処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
本人	廃棄物処理方針の決定 廃棄物処理に関する各種事項の決定・承認 廃棄物処理計画の作成 行政等への報告		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	排 出 量	2,582 t	2,0 t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	排 出 量	2,582 t	2,0 t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし		
③ 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	2,117 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	堆肥化（堆肥舎での切り返し）		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	2,117 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	堆肥化（堆肥舎での切り返し）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	465 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	465 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	全処理委託量	0 t	2、0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 動物の死体は処理業者(日大化成)に委託処理している		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	全処理委託量	0 t	2,0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 動物の死体は処理業者(日大化成)に委託処理する		
※事務処理欄			